

「物流の2024年問題」対策に係る 働き方改革・生産性向上モデル事業を採択しました！

川崎市では、平成30年4月に市内の7つの経済団体等と連携した「川崎市働き方改革・生産性向上推進プラットフォーム」を設置し、市内中小企業の働き方改革や生産性向上を促進しています。

その一環として、「物流の2024年問題※」に対応するため、市内の物流等の業務を行う中小企業等に、高い波及効果が見込まれるとともに、業務の効率化に有効な生産性向上に資する取組（モデル事業）を市内の中小企業等から、令和5年7月28日から8月25日にかけて募集したところ、6件の応募がありました。

厳正な審査を実施した結果、次のとおり2件の採択を決定いたしました。（事業費上限：500万円/件）

本事業により、市内において物流に関する業務を行う中小企業等の働き方改革や生産性向上の先導的事例を創出することで、意識醸成を図り、経営基盤の強化等につなげてまいります。

◆「働き方改革・生産性向上物流対策モデル創出事業」採択事業一覧（全2事業）

企業名	業種	事業名・事業概要
川崎北部市場運送サービス株式会社	運送業	<p>●<u>廃棄物収集運搬業務における「Wooms」導入による生産性向上</u></p> <p>家庭用廃棄物の収集運搬業務において、紙媒体でのルート管理を行っており、効率的なルート構築、各回収場所への訪問管理、他回収車両の状況把握等の課題が発生していました。そのため、本事業では、小田急電鉄株式会社が保有する効率化システム「Wooms」を導入し、タブレットによる位置情報とルート管理を行うシステムにより、効率的なルート構築、各回収拠点の訪問履歴管理ができるようになるとともに、各回収車両の状況がリアルタイムで把握できるため、他車両の状況を見ながら収集支援が可能となることで、収集運搬業務全体の効率化を図ります。</p>
ロジウィルグローバルサプライ株式会社	倉庫業	<p>●<u>倉庫内作業効率化のための自律走行搬送ロボット及び倉庫管理システムの導入</u></p> <p>倉庫業務における集品（ピッキング）業務について、集品リストと棚の保管場所の突合や、各商品の取り扱いが担当者の属人的なノウハウに依存していることが課題となっていました。そのため、本事業ではピッキング業務を補助する自律走行搬送ロボットを導入し、作業プロセスの統一化を図ることで属人的なノウハウに依存することなく、ピッキング業務を行うことが可能となり、生産性向上・倉庫内作業全体の業務改善が行われ、結果、働き方改革の一環として作業スタッフの肉体的疲労が軽減されます。また、管理システムの導入により、作業時間等の稼働データが可視化されることで、オペレーションの改善を図ることが可能となります。</p>

【今後の予定】

・令和6年2月22日（木）までの予定で各事業における取組を実施し、生産性向上等に対する効果検証等を行うとともに、各モデル事業終了後については、各事業の横展開に向けた取組を実施してまいります。

※「物流の2024年問題」

平成30年に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（いわゆる「働き方改革関連法」）」が施行され、時間外労働の上限規制等が開始されましたが、自動車の運転等の一部業務については、5年間の猶予期間が定められました。この猶予期間が終了し、自動車の運転等の業務についても、2024（令和6）年4月に時間外労働の上限規制が開始されることにより、物流の輸送力低下が懸念されるなどの諸問題です。

【問合せ先】

川崎市経済労働局労働雇用部 齋藤
電話：044-200-2298